原田病院 訪問リハビリたより

NO.16
2026年 11月発行

長雨の９月を経て、穏やかな秋を感じたのもつかの間、木枯らしが吹き始め、厳しい冬の気配も感じるようになりました。
さて今回の「リハの視点」では、“リエイブルメント”という考え方について紹介しています。今年度、この考え方を用いた、入間市でのモデル事業（短期集中予防サービス）に参画し、３か月の短期間で対象者の送りたい生活に近づけるよう、面談を中心に関わっています。ご自身の持つ強みを最大限に生かし、ご自身の力で心身の健康を保てるよう、支援しています。
より多くの地域の方々が、自立した自分らしい生活を送れるよう、今後も尽力したいと考えています。

リハの視点 「リエイブルメントについて」

【リエイブルメントとは】
直訳すると「再び出来るようになる」こと。短期集中予防サービスでは、「元の生活を取り戻す支援」を取り組みとしています。

【リエイブルメント・プログラムの特徴】
◇体の機能の回復だけを目標にするのではなく、社会生活への復帰を目指す。
◇対象者に直接触れる処置や家にない特別な器具を使うのではなく、対象者の思いや意欲を取り組みにつなげる動機づけ面談を中心にすすめる。
◇プログラムを通して対象者が自信と能力を取り戻し、生活についてセルフマネジメントできるようになる。

我々リハビリ職員は、未来を見据えていくうえで大切な考え方であると感じております。この考え方を通して、ご利用者様自身による『意思決定』を促し、ご利用者様の意思を尊重し、ご自身の意志で参加を行うことで、行動変容が生じ、QOLが向上することを目指しています。自立した生活を再獲得することで、幸せな生活を獲得することを目指していきます。



理学療法士
岩堀

利用者さんとの あゆみ ～リハビリの記録～

No.21 N 様 「リエイブルメントでのリハビリ」

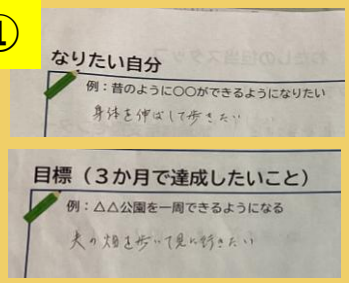
利用者様の許可を得て掲載しています。

N様　女性　疾患名：脊柱管狭窄症　ご希望「家族が管理している畑まで歩いて行きたい」課題「筋力低下、脊柱の変形」

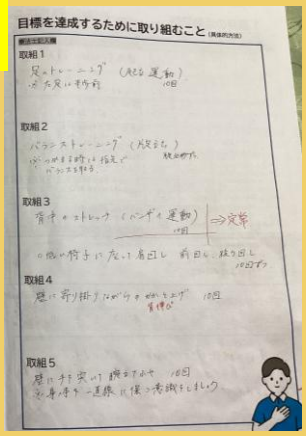
【茶レンジノート】
①なりたい自分、目標を記載
②取り組み内容を記載
③活動記録を記載してもらう
④リハ職がコメントを記載
※入間市高齢者支援課が作成



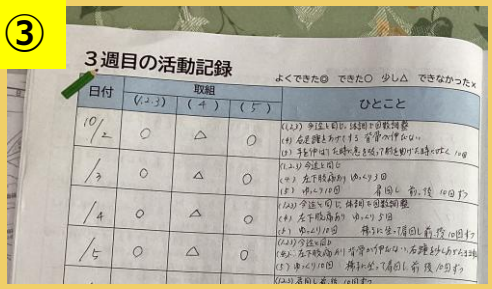
①



②



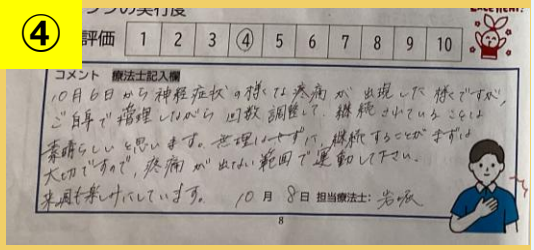
③



1週間の運動の経過や生活場面での変化を記載。
運動をご自身で調整しながら楽しんで取り組んでおり、気になった点や調整した内容を細かく記載していただきました。

目標の達成に向けた自主トレーニングの内容を記載、運動を確認。
適宜、運動の負荷量や回数を増やすなど工夫しています。

④



1週間の運動の様子や生活場面での変化を聴取し、スタッフよりコメントを残します。N様はこちらのフィードバック内容をご友人に自慢しているようでした。そのことをスタッフにも教えて頂き、運動指導やフィードバックにもより一層気合が入ります。

「いいところを見せられるように頑張らないと！」とフィードバックをもらえることがモチベーションになっているようです。
このような関わりによって、行動変容を促し、ご利用者様が「できるようになる」ことを支援していきたいと考えます。

原田病院　訪問リハビリ事業所
TEL：04-2997-8433　FAX:04-2997-8434　（担当：種沢）
営業日：月曜～金曜　9:00～17:15
営業地域：入間市全域、狭山市・飯能市の一部

介護保険及び**医療保険**での訪問リハビリが可能です。

原田病院 訪問リハビリは
「やってみたい、できるようになりたい」を支援します！

社会医療法人 東明会 原田病院

原田病院
訪問リハビリHP